

このプリントでは、2021年2月14日に実施した文章読解・作成能力検定の4級の問題を使って、意見文の「事実」の書き方を説明します。検定問題は、協会HPよりダウンロードすることができます。

<https://www.kanken.or.jp/bunshouken/materials/example.html>

ステップ1 ブレイン・ストーミングで書く材料を集めよう

何を書けばいいか、全然思いつかないよ。



ブレイン・ストーミングをしてみたら？

え。なにそれ。



あるテーマについて思いつくことを、たくさん集めてメモしていくことだよ。

テーマ

友だちから苦手なことに誘われたとき、断る方がいいか、断らない方がいいか

そんな経験ないから
なんにも思いつかないよ。



テーマが自分に経験のないことだと
書けないよね。



自分の経験にこだわらなくても、家族や友だちから聞いた話、
ネットやテレビで見た話でもいいよ。

そうなんだー。



集めたメモは、意見文を書くための材料集めに使えるよ。さあ、やってみよう。



ワーク1

「友だちから苦手なことに誘われた」ことについて、思いつくことをメモしよう。

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

ステップ2 集めた材料を、「事実」と「事実」以外に分けてみよう

- ① 苦手なことに誘われないといいなあ。
- ② 山田くんはサッカーが苦手かもしれない。
- ③ 運動ぎらいの弟が、友だちに誘われて野球をした。
- ④ 苦手なことでも断らない方がいい。

書いてみたよ。



- ⑤ 苦手なことがない人ってすごいなあ。
- ⑥ 苦手なことに誘われて断ったことがある。
- ⑦ 苦手なことに誘われたら断る方がいいと思う。
- ⑧ 苦手なことをしても楽しめないような気がする。

わたしも書けた。



わあ、たくさん書けたね。でも、この中で、事実とは2つしかないよ。どれとどれが「事実」だか分かるかな？



ワーク2

①～⑧の中で「事実」には（ ）の中に○を、「事実」ではないものは「想像、意見、感想、願望」の中から当てはまるものを選んで（ ）の中に書こう。

- ① 苦手なことに誘われないといいなあ。 ()
- ② 山田くんはサッカーが苦手かもしれない。 ()
- ③ 運動ぎらいの弟が、友だちに誘われて野球をした。 ()
- ④ 苦手なことでも断らない方がいい。 ()
- ⑤ 苦手なことがない人ってすごいなあ。 ()
- ⑥ 苦手なことに誘われて断ったことがある。 ()
- ⑦ 苦手なことに誘われたら断る方がいいと思う。 ()
- ⑧ 苦手なことをしても楽しめないような気がする。 ()

ええと、「事実」は③と⑥だけで、ほかは「事実」じゃないと思うな。あとはなんだろう。



①は願望、②は想像、④は意見、⑤は感想、⑦は意見、⑧は想像じゃないかな。



その通り！「事実」を書く材料が集まったら、それをもとに、詳しく書いていけばいいんだよ。

「事実」をどう詳しく書いていくかは、「【4級】意見文入門講座②」を見てね。

